

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2014.12.No208

12月号

目次

第39回 (一社)北海道建築士会
全道大会(旭川大会)を終えて………1

特集 第39回一般社団法人北海道
建築士会全道大会(旭川大会)………2

青年・女性の窓………6
[No.69 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]

支部だより………7
[恵庭・北空知]

information………8

URL <http://www.h-ab.com/>



第39回 (一社)北海道建築士会全道大会(旭川大会)を終えて

第39回 (一社)北海道建築士会全道大会(旭川大会) 実行委員長

一般社団法人 北海道建築士会旭川支部 支部長 **石川 吉博**

この度の建築士会全道大会(旭川大会)は道内34支部から381名の会員仲間の参加に加え青森県、山形県、宮城県、兵庫県建築士会の方々並びに多くのご来賓のご臨席を頂き盛大に開催できましたことに心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

また、今大会の開催に当たりましては準備段階から行政機関並びに多くの建築関連団体の皆様に物心両面にわたりご支援ご協力を頂きましたことに対しまして重ねて感謝とお礼を申し上げます。

大会は天候にも恵まれ、秋の気配が深まる旭川の美しい街並みやりニューアルされた旭川駅のたたずまいを肌で感じて頂けたことと存じます。

今大会のテーマは全国の地方都市に見られるように旭川市においても人口減少が進み都心の活力が失われつつありますことから、都心に再び賑わいを取

り戻したい思いを込め、我々建築士自らも取り組む決意の基「都心 ルネッサンス」と決定し、準備を進めて参りました。お蔭様でテーマに沿った青年サミットや三つの分科会で熱心な議論がなされ大きな成果を頂くことができました。提言を頂いた成果を基に大会決意文でも表明した通り、持てる技術と知識を生かし地域の更なる発展に向け、輝かしい未来の創造に貢献して行きたいと考えております。

旭川支部にとっては平成5年の第36回全国大会以来21年ぶりの大きなイベントで、支部会員の結束力と底力を感じることができました。これを機に支部のさらなる発展と活性化が図られることを祈念するものであります。

最後に全道の士会仲間の心温まるご支援とご協力に感謝し、お礼の挨拶といたします。



大会式典 高野大会長挨拶



会長表彰受賞者の方々



基調講演 旭山動物園園長 坂東 元氏



青年サミット ワークショップ



開会宣言



石川実行委員長 挨拶



高野大会長 挨拶



会長表彰 受賞者の皆様



基調講演 講師 旭山動物園 園長 坂東 元氏



西川旭川市長 祝辞



三井所連合会会長 祝辞



会長表彰



分科会報告



式典の様子



受付



青年サミット会場 旭川市市民活動センター CoCoDe

▲ 第39回一般社団法人北海道 建築士会全道大会 (旭川大会)

大会テーマ：都心 ルネッサンス

～氷点のまち 輝くみらい～

青年サミットテーマ：あさひかわの今

～今の旭川を感じみらいに何が必要か～

2014.9.26 9.27 式典・基調講演会場：旭川市公会堂

青年サミット会場：旭川市市民活動センター CoCoDe



式典・基調講演会場 旭川市公会堂



企業出店ブース



青年サミット まちあるき



青年サミット懇親会



A分科会 (女性委員会)



B分科会 (まちづくり委員会)



C分科会 (青年委員会)



鏡開き



お土産紹介



懇親会



余興



抽選会



次期開催地アピール (紋別支部)

分科会報告

A 分科会

素材のチカラ『木』
がマチを再生する!

女性委員会 委員
溝口真由美 (北見支部)



A分科会は『道産素材』を継続的にテーマに取り上げております。今回は旭川が古くから林業・家具生産が盛んな『木のまち』として知られている事から、『木』を巡るパネルディスカッションを行い、52名の方に参加していただきました。

旭川を含めた地方再生の起爆剤となるべく『木』に情熱を注がれている3名を講師に迎え、各自の活動について語っていただき、その後トークセッションを行いました。

最初に森を育てる環境保全活動をしているNPO法人もりねっと北海道 理事 山本 牧氏には、木を材料として使う為に、切って良い場所ダメな場所を分けるゾーニング等を、教えていただきました。

次に独立行政法人北海道総合研究機構 林産試験場 技術部 大橋 義徳氏には、道産材の木質I型梁などの木質構造部材の開発技術をスライドで説明していただきました。

最後にクラフト作家リーフスタイル 千葉 章弘氏には、会場に作品をお持ちいただき、以前は道産広葉樹の材料が贅沢に使われていた事。現在は道産材の材料入手が困難でタイミングが合えば入手できる状況を教えていただきました。

トークセッションでは建築士は『森の応援団』になって欲しいというお話がありました。北海道は木が豊富なイメージですが、過去の大量伐採により枯渇している資源もあります。森林は植樹など努力し続けても、資源として利用できるまでには長い年月がかかる事を理解し、構造材・内装材の開発など、新しい技術を学びながら、『道産木材』の素晴らしさを次世代へ残していきたいと思っております。

B 分科会

賑わいfrom
買い物公園

まちづくり委員会 委員
三坂 和靖 (北見支部)



B分科会は81名の参加をいただきました。分科会前半はリニューアルされた旭川駅に集合し、東海大学名誉教授の大矢先生から新駅舎の詳細な説明をいただいた後、文化的・歴史的資源の一つである上川倉庫郡を見学し日本で最初の恒久的歩行者専用道路であります買物公園を散策する「街歩き」を行いました。

【まちあるき&講演・ディスカッション(賑わいfrom買物公園)】というテーマを設け、駅周辺開発「北彩都あさひかわ」整備事業による地域コミュニティと買物公園の共存がどの様にまちづくりに影響するのか、また隣接する建築物等による中心市街地景観の変化について、どの様に「まちづくり」と関わっているかを探る為の街歩きを企画し講師の先生方や旭川支部の方々の協力をいただき開催することが出来ました。

街中を意識しながら歩くことによって、普段は気づくことの少ない部分も発見でき、実りある「街歩き」だったと感じます。

分科会後半は「旭川まちなかマネジメント協議会」の平塚参事と東海大学名誉教授の大矢先生のお2人に講演をしていただき、中心市街地の秘めた可能性と今後の展望について考えさせられるものがありました。40余年旭川の顔であり続けている「買物公園」と新しい旭川の顔「北彩都あさひかわ」、そして街中に点在する文化的・歴史的「資産」、これらを結び付け、それぞれの賑わいを互いに共有できるよう「旭川の魅力」の魅せ方について深く考えさせられる分科会となりました。

C 分科会

「あさひかわのみらい
～楽しく賑わう 都心
ルネッサンスを描く～」

青年委員会 副委員長
石塚 尚也 (恵庭支部)



都心のにぎわいをもう一度再生させたい・・・そこに求められているものは、どのようなものなのでしょうか・・・

前日に行われた青年サミットでは、まちあるきを行い、都心に賑わいを取り戻すためのアイデアを出し合ったのですが、C分科会ではサミットでのアイデアを踏まえて、さらに一歩踏み込んだワークショップを行い、より具体的な提案を行いました。

具体案の成果品としては、プロジェクト企画書・敷地利用計画平面図・外観イメージスケッチ、この3点です。時間が短かったこともあり、ラフスケッチのような状態にはなりましたが、若者ならではの元気ハツラツなアイデアや、落ち着きのある現実的な案など、バリエーションに富んだ個性的なものが多く生み出されました。



魅力的な都心ルネッサンスを実現させる為には、より多くの人達が、より多くのコトを話し合っていくことが必要だと思います。今回のワークショップが、わずかながらそのきっかけとなれば・・・と考えております。

10年後の旭川が「なんかイイよね!!」と言えるような都心になることを願っています。

号外を発行

情報委員会 委員長

神田 光英 (十勝支部)



当委員会は毎月発行される会誌の校正をコツコツとパソコン相手に地味な作業をしています。トピックや特集こそ組みますが、皆さんから上がってきた原稿を編集するのがメインの役割です。

情報は人から人へ！そしてネットワークが軽い委員会を披露しよう！ということから、今年は分科会を担当せず「号外」を発行してみてもという声が上がりました。

委員会内で各担当を決め、それぞれの分科会に参加し、取材しながら自ら体験したことを掲載しました。事前に記事として書けることや想定の記事、見出しは考えてはいたものの、体感することによっての大幅な変更、メンバーも四苦八苦していました。

大会本部の横に「編集局」を設け作業し、時間内に印刷会社にデータを送り、刷り上がったものを折る。時間との戦いでしたが、何とか懇親会に間に合い、皆様に配布することができました。いかがだったでしょうか？

時間の関係上、式典・基調講演には参加できず残念でしたが、何はともあれ、委員会内の結束力が高まったのが一番の成果だと思います。来年の紋別大会でも今年以上の号外を配布できればと思います。



あさひかわの今

青年委員会 副委員長

原 一彦 (旭川支部)



青年サミットが、全道大会(旭川大会)に先立ち9月26日に旭川市市民活動センター(CoCoDe)で行われました。全道大会のテーマ「都心ルネッサンス」を掲げ、サミットでは「あさひかわの今～今の旭川を感じ、みらいに何が必要か～」をテーマに、今の旭川を実際に散策(まちあるき)して感じ取り、みらいの旭川のために何をしなければならないのか、何ができるのかを考え話し合いました。

旭川支部や道北ブロックでは定番の「まちあるき」を市内4カ所(比較的古い住宅街、古い市場と商店街、高台にある並木のある通り、平和通り商店街)に分かれて行い、市民へのPRも行うことができました。

後半の「ワークショップ」では、地区ごとの特色や、良かったところ悪かったところを持ち寄り、旭川駅周辺に「なにがほしいか？なぜほしいか？」を話し合いました。率直で、ユーモアや夢のある内容や、すぐに実現可能なものまで、さまざまな角度からたくさんのアイデアが出されました。

今回のサミットでは、自由な発想によるワークショップを行いました。出されたアイデアを現実のものにしていくには、今後も旭川のまちづくりへ建築士として携わっていくことが必要であると感じました。

このサミットはC分科会につなげられるような企画とするため、早い段階からたくさんの皆さんにお手伝いいただくとともに、当日はたくさんの青年のメンバーに参加していただきました。本当にありがとうございました。

第39回北海道建築士会全道大会(旭川大会)氷点のまちでの開催を終えて

広報委員会 委員長

碓川 正人 (旭川支部)



昨年の開催支部決定以降、4月に準備委員会を立ち上げたもの一向に作業が進まず不安がありましたが、大会テーマ、開催日時、会場が順次決定し、支部会員にも徐々に次期開催支部としての気構えが醸成されていきました。

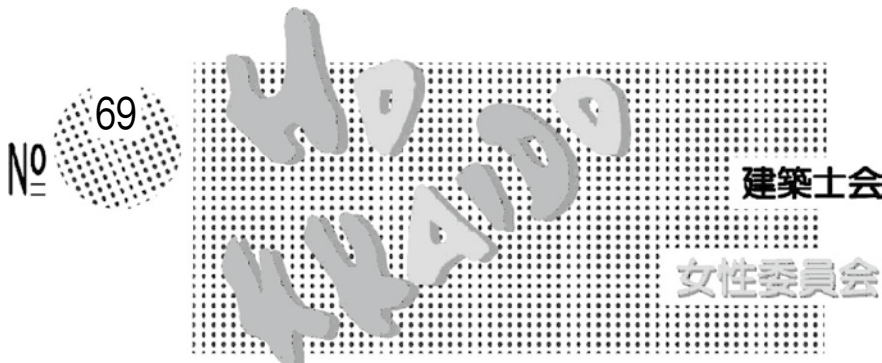
9月の恵庭大会に29名が参加し旭川大会の成功を誓い合い、11月に第2回の準備会を行って今年3月に実行委員会を発足させ本格的な準備作業に入りました。

大会の実行組織は、既存の実行委員会ごとに役割を分担して行い、青年委員会は青年サミット、総務委員会が式典、事業委員会が分科会、技術委員会が懇親会、広報委員会はポスター・パンフレットの作成と大会の記録を担当し、その他一部の有志会員にも参加いただき実行委員会が動き出しました。大会当日まで20回を超える委員会を開催し企画運営、役割分担や進行についての確認作業を行い無事大会当日を迎えられました。

当日は受付から始まり分科会、式典と順調に大会が進行していましたが、式典最後の次期開催地挨拶では確認ミスで紋別支部には大変申し訳ないことをいたしました。改めてお詫び申し上げます。

次回の紋別大会が成功いたしますことを祈念申し上げますと共にご参加いただきました多くの会員仲間の皆様と協賛・協力いただいた企業の皆様に心から感謝申し上げます。実行委員会からの報告とさせていただきます。





女性建築士の集い報告

旭川支部 上野るみ子



9月28日(日)「君の椅子」プロジェクト代表の磯田 憲一氏をお招きし、「生命(いのち)ことほぐ」と題し、講演して頂きました。会員26名、一般5名の参加でした。

始まりは、旭川大学大学院の磯田ゼミで「誕生する子供を迎える喜びを、地域で分かち合いたい」そんな会話から始まりました。「新しい市民」となった子供たちに「生まれてくれてありがとう」の思いを込めて、居場所の象徴としての「椅子」を贈る取り組みです。

「君の椅子」は、デザイナーが心をこめて描いたデザインをもとに、無垢の木材を使い北海道が誇る家具製作技術で作られたオリジナルの手づくり椅子で、デザインは毎年変わり、座面の裏に生まれた日と名前、プロジェクトロゴや一連番号が刻印された、正に“世界に一つだけの椅子”なのです。

2006年東川町から始まり、剣淵町・愛別町・東神楽町そして2014年からは中川町も参加。自治体が予算を組み、地域の木工家に、椅子の制作技術に相応の対価を支払い、技術の伝承を後押しするという仕組みを磯田氏が進められました。

また、東日本大震災で多くの方が亡くなった岩手・宮城・福島の3県で、2011年3月11日想像を絶する中で「104」もの新しい生命が誕生したことを調べ、“希望の「君の椅子」を贈る取り組みもされました。報道番組のVTRの中で『あんな大変な日に誕生して祝っちゃいけないと思っていました』と言う親御さんに、「おめでとう」と磯田氏自ら椅子を届けると、『本当に祝ってやって良いんですね』と涙を流され大変喜んでいらっしかったです。

プロジェクトも今年で9年目。今までも無垢の木材を使っていましたが、新たにその材料にもこだわり、中川町有林や北大研究林の道産材を使用することになり、林業従事者、デザイナー、制作者、そして使用者に至るまでのトレーサビリティが明らかな「君の椅子」が出来上がるそうです。

歴代の「君の椅子」は、札幌の中心部で最も古いビルといわれる大五ビルと、旭川美術館にも収蔵されているので、機会があれば拝見したいと思っています。

懇親会は、酒蔵オーナーの自宅として昭和8年に建てられた、戦前旭川の文化の髄を集めた 登録有形文化財(建物)の“おかだ紅雪庭”で、美味しいお蕎麦をいただきました。



イタリア建築と食文化を楽しむ

釧路支部 金子ゆかり

去る7月12日、釧路支部では「イタリア家庭料理講座&イタリア建築紀行」と題し、建築の勉強会を兼ねたお料理教室を、釧路ガスショールームのクッキングスタジオをお借りして、開催しました。

当日は会員5名が出席。

講師には、道東唯一のオリーブオイルソムリエである菅原以久子氏を迎え、本場イタリアの家庭料理を教えてくださいました。

生のアーモンドを使ったパスタソースやズッキーニの塩タルトなど普段、味わう事の無いメニューに一同大興奮!しかも、忙しい建築士会メンバーでも作れるような簡単なレシピも配布されました。

楽しい料理と美味しい試食の後は、有限会社三浦建築設計事務所、三浦氏に、イタリア建築についてスライドを見せながら解説をして頂きました。

歴史的な有名建築物だけでなく宿泊したホテルのインテリアなど建築士の目線で見たイタリア建築の魅力が沢山伝えて頂きました。

大変好評だったこの事業、会員限定では勿体無いとの声もあり、第二段を検討しているところです。



《塩やオイルをテイスティング》



《イタリアを満喫する会員たち》

恵庭支部 市内中学校「手づくり木工教室」開催

事務局長
伊藤 隆英



平成22年から、事業活動グループの事業の一環として、毎年、市内中学校2校（生徒12名）を対象に、恵庭市職業訓練センター「実習場」を会場に「手づくり木工教室」を開催しています。

この事業は、「若年技能者人材育成支援事業」に共催して開催されるもので、中学生に「手づくりで・・・ものづくりを楽しんでもらう！」そして“技”のおもしろ

さに少しでも興味を持ってもらうことを本事業の趣旨として今回で5回目の開催となります。

1校あたり6名が1組2名で2×4材を用いたベンチ（L1,800×W400×H400）を部材の切断・組立・塗装の工程を生徒自ら“手づくり”で1校あたり「6脚」を製作してもらいます。

支部会員は、班ごとに「技術指導員」として配置し、木取寸法、組立、塗装及び道具の使い方などの指導を行い、生徒とともに「ベンチ」を作り上げます。

（*授業時間 9:00～15:00）

これらの製作した「ベンチ」は、すべて各中学校に寄贈して屋外運動場の「屋外ベンチ」として野球部やサッカー部のベンチとして活用されており、今までに60脚作製し、各中学校から好評を頂いている恵庭支部事業です。



北空知支部 第30回「建築士と仲間のつどい」

事務局長
當野 弘之



毎年恒例でおこなっています「建築士と仲間のつどい」会員と市民を対象にしたビールパーティーも今年で30回目となる節目の年を迎えました。

深川神社祭の日程とあわせていることもあり、お祭りの出店の通りにビールパーティーの会場が面していることから家族連れも多く参加して盛大に開催されています。

今年は、30回目の節目の年ということでビールパーティー券も役員の頑張りです。例年より多くさばくことができました。

いちばんの盛り上がりを見せる抽選会は、いつも通り青年部のしきりでおこない、景品についても第30回記念賞も設け、ほぼ全員に当たるよう自転車・海鮮もの・メロン・スイカ・電化製品・ヘネシーと多種にわたって準備しました。

また、景品については、事務局で準備する以外に毎回、賛助会員及び多くの事業所からも協力をい

ただき、成り立っていますので、会員一同深く感謝しています。



「建築士と仲間のつどい」の事業は、今後も継続していきます。

次年度は、見学会等も計画していますので新たな支部の展開を報告できればと思っています。

道士会の動き

平成27年度

専攻建築士登録申請受付のご案内

？ 専攻建築士になるには・・・（新規認定の要件）

- ・「CPD」を行っており、過去1年間（平成26年1月～12月）に12単位を取得している
 - ・建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が5年以上ある
 - ・「当該領域の責任ある立場での実務実績」（要第三者による証明）が3件以上ある
- ※構造設計・法令専攻建築士は、一級建築士を要件としております。

◆専攻建築士認定申請（新規）について

〈受付期間〉

平成27年1月5日～2月27日（当日消印有効）

〈申請書〉

北海道建築士会HPよりダウンロードできます。

〈申込〉

申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付して北海道建築士会へお申込みください。

◆専攻建築士更新認定申請について

既に、対象のみなさまへは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない場合は、本部事務局までご連絡ください。（011-251-6076）

～「専攻建築士制度」とは、消費者に対して専門家として社会に責任の取りうる業務領域（専攻専門領域）を認定・登録し社会に示す制度です。

*詳細は（公社）日本建築士連合会HPをご覧ください。

道士会の動き

道本部の主な会議報告

◆第5回地域貢献活動センター委員会

〈開催日〉11月7日(金)

〈議案〉

- 1) 「発寒商店街」「蘭歴建見会」助成申請の活動助成について
- 2) 平成27年実行計画及び収支予算について

◆第4回情報委員会

〈開催日〉11月8日(土)

〈議案〉

- 1) 平成27年事業計画・予算について
- 2) 平成27年会誌スケジュール

◆第4回総務委員会

〈開催日〉11月15日(土)

〈議案〉

- 1) 平成26年事業報告及び収支状況決算見込みについて
- 2) 平成27年事業計画及び収支予算(案)について
- 3) 理事会提案事項について
- 4) CPD及び専攻建築士規則の改正について(報告)

◆第2回青年委員会WEB会議

〈開催日〉11月15日(土)

〈議案〉

- 1) 平成26年事業報告
- 2) 平成27年事業計画案・予算案について

道本部の主な行事予定(12月)

■ 5日 第5回理事会

■ 13日 第3回女性委員会

〈建築士合格者発表〉

二級・木造建築士 4日 一級建築士 18日

※建築士登録申請は、北海道建築士会本部で受付します。詳細は、ホームページをご覧ください。

関係機関等会議出席状況(12月)

■ 3日 建築CPD運営会議(東京) 高野会長出席

■ 10日 災害対策特別委員会(東京) 高野会長出席

編集後記

今号は9月に行われた全道大会(旭川大会)を特集しました。

まずは、開催支部のメンバーとして感謝申し上げます。

我々情報委員会としましては、初の試みとして大会当日に号外を発行しました。これは、北海道建築士会HPに掲載しておりますので是非ご覧いただきたいと思っております。

さて、早いもので本年の締め切りの発刊となりました。来年はさらに楽しい誌面を目指してまいります!

情報委員会 齋藤 勝哉

CPD認定プログラム(11月認定)

◆第48回建築基準法講習会

〈日程及び会場〉平成27年1月19日(月)～2月25日(水)
10:30～16:00
北海道第2水産ビル(札幌市)
他19会場

〈単位数〉4単位

〈問合せ先〉(一社)北海道建築士会

TEL 011-251-6076

※詳細は、同封の講習案内をご覧ください。

◆平成26年度BIS更新講習会

〈日程及び会場〉12月16日(火)～平成27年2月2日(月)
13:30～16:30
帯広経済センタービル(帯広市)
他3会場

〈単位数〉3単位

〈問合せ先〉(一社)北海道建築技術協会

TEL 011-251-2794

◆建設工事に伴う労働災害・環境・公害防止講習会

〈日程及び会場〉平成26年12月16日(火)

13:30～17:00

北海道建設会館

〈単位数〉3単位

〈問合せ先〉(一社)日本建設業連合会北海道支部

TEL 011-261-6245

札幌会場の日程が決定しました。

平成26年度応急危険度判定士認定講習会(平成27年開催)

更新対象の方は、有効期限満了までに受講いただき更新登録を行ってください。また、建築士を新規に合格された方も受講は可能ですので(登録は免許証明書が交付されてからになります)、ぜひ皆様の積極的な受講をお待ちしています。詳細については、北海道建築士会本部(011-251-6076)までお問合せください。

開催地	開催月日(27年)	会場名	開催時間	備考(同時開催)
札幌市	2月3日(火)	北海道自治労会館	14:00～16:00	
根室市	1月22日(木)	根室振興局 3階大会議室	13:00～16:00	応急危険度判定机上訓練を含む。
釧路市	1月27日(火)	釧路総合振興局 3階会議室	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:15～17:00)に実施。
江差町	2月5日(木)	檜山振興局 301号室	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:10～17:00)に実施。
稚内市	2月5日(木)	宗谷総合振興局 保健所2階 6号会議室	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:00～16:00)に実施。
苫小牧市	2月5日(木)	苫小牧市職員会館	13:00～15:00	応急危険度判定机上訓練(15:00～16:00)に実施。机上訓練の問合せ先は胆振総合振興局です。(苫小牧市ではありません。)
旭川市	(2月頃)	上川総合振興局 3階講堂	未定	

注) 認定講習会と同時開催する応急危険度判定机上訓練、コーディネーター研修の詳細(申込)については、開催地の(総合)振興局建設指導課建築住宅係へお問い合わせ願います。

情報委員会委員長/神田 光英
副委員長/齋藤 勝哉・早川 陽子・森 勝利
委員/高松 徹・熊谷 智・柳山美保子
鈴木 雅人

北海道建築士 No.208号

印刷 平成26年11月/発行 平成26年12月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011)251-6076番
URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011)811-7151番